

深川消防団ニュース



さきもり

発行 深川消防団
 所在地 〒135-0042
 東京都江東区木場
 3丁目18番地10号
 深川消防団本部
 TEL: 03-3642-0119
 FAX: 03-3641-4422

「深川消防団始式挙行」 東京海洋大学 越中島会館に於いて

昭和8年竣工の由緒ある会館にて、「我が街は我が手で守る」を胸に！

消防団の将来を担う新入団員



小安副団長からの人員報告



越中島会館
旧東京商船大学

刺子姿の、歴代深川消防団長



消防団員、起立！

文化センターが工事の為
会場を移動しました。
(旧水産講習所本館)

深川消防団始式

〔平成二十五年消防団始式
二月十三日(日) 越中島会館〕

本年は、区内唯一の国立大学である東京海洋大学の越中島会館をお借りして消防団始式が執り行われました。

旧東京商船大学という名前のほうがピンとくる方もいるかもしれませんが、この会館は東京海洋大学越中島キャンパス内にあり、会館自体も国の登録有形文化財となっています。キャンパス内には、第一観測台・第二観測台などの歴史を感じさせる物が点在しています。その中で始式は江東区長はじめ先輩、関係団体の方々に見守られながら進行していきました。

本年の新入団員の代表として第七分団の「藤 智美」団員が新入団員決意宣言を読み上げました。藤団員は小学生のお子さんを持つ母親で、お子さんは消防少年団に入団しています。

その後、形屋消防団長の謝辞をもって閉式となりました。

(第八分団 庄井 編集員)

四月一日付の定期人事異動
で深川消防署に赴任された
職員をご紹介します。



深川消防署長
消防監
阿部 寛三

4月1日付けの定期人事異動にて、第五十七代深川消防署長を拝命いたしました。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。深川消防署は、私の消防官としての拜命署でもあり、三十年ぶりに再びこの様な形で奉職出来ます事を、そして歴史と伝統ある深川消防団の皆さんと、地域の安心と安全を確保するために、一緒に活動できます事を大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いであります。

出身は秋田県鹿角市八幡平という雪深い地域です。

自宅は千葉県印西市、妻と小学校三年生の息子と三人暮らしです。

現在は、署に隣接する公舎での単身赴任生活です。

地域の皆様に、「そこに消防署があ

って良かった。」と思ってもらえるように、原点に立ち返って、実績・実力ともに充実している深川消防団と、地域密着を標榜している深川消防署が、車の両輪の如く連携を密に頑張りたいと思いますので、角田前署長同様の支援助とご協力をお願いし、着任の挨拶とさせていただきます。

経歴

昭和五十一年四月東京消防庁入庁
同年十月深川消防署拜命
その後

品川消防署、渋谷消防署、麹町消防署、本庁総務部(中国・北京市消防局派遣)、本庁警防部、本田消防署、臨港消防署、本庁総合指令室長を経て、王子消防署長を拝命。
本年四月に深川消防署長に着任。



警防課長
消防司令長
川部 浩史

私は、小、中、高校生の時代を、お隣の城東消防署管内の砂町というところで過ごしました。

当時は、深川消防署管内にある江東

公会堂(現ティアラ公会堂)で開催された音楽会に参加したり、扇橋にあった親戚の経営する飲食店でアルバイトをしたりしていました。

深川はほとんど私の地元のような地域であり、親しみのある深川の地で好きな仕事ができることに心から喜びを感じています。

「自分たちの町は自分たちで守る」の心意気で日々活動されている皆様と私も一緒になって深川の町を守っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

経歴

平成二年四月東京消防庁入庁
同年十月町田消防署拜命
その後

本庁人事部人事課(千葉大学派遣)、消防科学研究所第四研究室(現消防技術安全所活動安全課)、杉並消防署、荏原消防署、本庁人事部人事課、葛西消防署、本庁警防部警防課(総務省消防庁派遣)、本庁人事部人事課、同職員課を経て
本年四月に深川消防署警防課長に着任。



防災安全係長
消防司令
小坂 良和

防災安全係長に就任しました小坂です。住まいが中央線の小金井という所で、一時間三十分程かけて通勤しています。出身は、九州の長崎で東京に来て三十数年になりますが、いまだになまりがぬけません。九州弁の係長と、覚えて頂ければ幸いです。

第七方面は、全く土地勘がなく不安で一杯ですが、深川の防火防災の為に皆様方消防団と共に一生懸命頑張って行きたいと思っておりますのでどうぞよろしく申し上げます。

経歴

平成五十一年四月東京消防庁入庁
その後
北多摩中央消防署、国分寺消防署、豊島消防署、青梅消防署、渋谷消防署、本庁人事部健康管理室、新宿消防署を経て
本年四月に深川消防署警防課
防災安全係長に着任。



防災安全係
消防士長
吉原 曜子

このたび、西新井消防署より転入して参りました、吉原曜子と申します。入庁以来、様々な経験をさせて頂きました。消防団担当は初めてです。で、まずは、ご迷惑をおかけしないように：と思っております。

現在、長男七歳と長女四歳の子育て真っ最中です。

子ども同様、私も成長できるように、何事も前向きに学びたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

経歴

平成四年四月東京消防庁入庁
同年十月浅草消防署拝命

その後

荏原消防署、練馬消防署、本庁救急部、西新井消防署を経て、

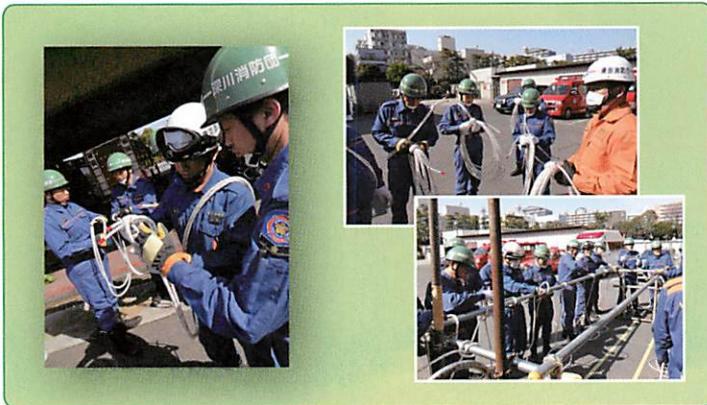
本年四月に深川消防署警防課
防災安全係に着任。



救助ロープ取り扱い訓練

【期日】3月9日
【場所】消防署中庭

各分団へ救助ロープが支給されるのに伴い、消防署中庭に於いてロープの取り扱い訓練が行われました。消防署員の方の指導の下、基本結索として「巻結び」「もやい結び」、ロープ収納のための「一ひろ巻き」「携行結び」、ホース脱着防止のための「ブルージック」を学び、それらに応用したホース吊り下げにも挑戦しました。日々の消



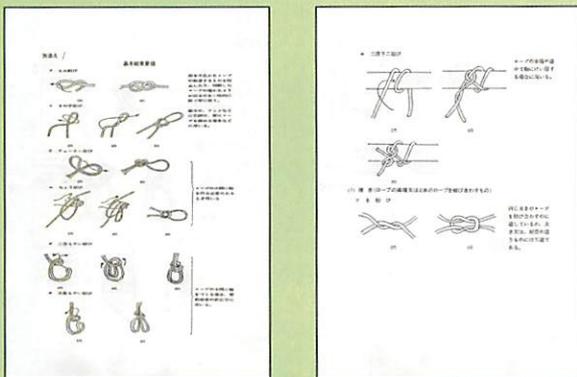
防団活動に役立ち、防災訓練時の住民指導にも使える有意義な訓練になったと思います。

訓練の様子や実際の結び方はインターネットの「さきもり」ホームページに動画としてアップしてありますのでぜひ参考にして下さい。

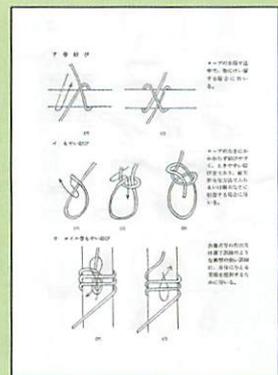
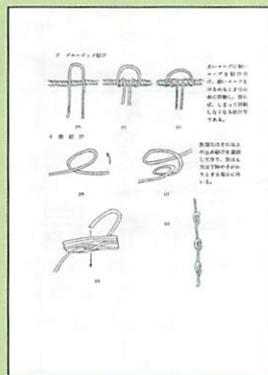
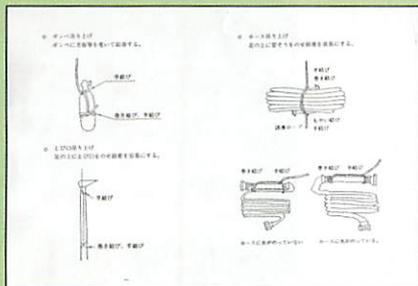
消防団員として、しっかりと習得し、防災訓練等で指導出来るようにして下さい。

(第八分団 庄井 編集員)

結び方いろいろ



ホームページからも
ダウンロード可能です。



「深川 春の子供祭り」で
春の火災予防運動

【期日】3月3日
【場所】森下高森公園

住宅火災警報器の啓蒙

高森公園で行われた「深川 春の子供祭り」(江少連 西部連合会主催)に深川消防署及び第三分団が出動しました。

春の火災予防運動の一環として毎年参加しています。

今年も角田署長より「のらくろ」に對して一日署長の任命も有り、開会式が盛り上がりつつありました。さすが元祖ゆるぎやらずね。

二千名を超える子供たちが集まる中、消防団も「煙ハウス」や「住宅火災警報器」の啓蒙活動を行いました。

(第三分団 阿部 編集員)

スタンドパイプ取扱を
消防署員と共に、指導

【期日】5月19日
【場所】白河二丁目町会

災害協力隊に配布

震災が発生し同時に火災が多数発生

した場合、消防署や消防団だけでは、全ての火災に對応することが困難になることが考えられることから、区内の災害協力隊に、江東区よりスタンドパイプが配布されました。
これは、路上の消火栓に直結するだけで消火活動が行えるもので、二十メートルホース四本が積載されており、二階までの火災に對応可能ですが、断水の際には、使用不可能です。



この取り扱い訓練が、五月十九日に白河二丁目町会で行われました。
消防署員より消火栓の開け方・閉め方の説明があり、消防団による放水の

実演の後、町会の方々も実際に消火栓の開け閉めの訓練、続けて団員が補助しながらホースの筒先を持って放水の体験をしました。消防署員より、消火栓の開け閉めの際は、腰に充分注意することや、足をはさまないようにする方法などの指導がありました。最後に、定期的な訓練が必要なことや、震災発生時以外使用しないこととの挨拶があり終了しました。

取り扱い訓練を希望される場合は、消防署員の立会が必要のため、必ず消防署に届け出て下さい。

(第四分団 正本 編集員)

働く消防の写生会

川南小学校1・2年生

【期日】4月22日
【場所】川南小学校



小学校の写生会に消防車両、消防署員と並んで、消防団の可搬ポンプと消防員もモデルで参加しました。

消防署と消防団の違いを小学生に理解してもらうのは難しいですが、素直に見えたままを描く児童の絵は、とても力強く、特徴をよく捉えていました。思い思いに描く児童の眼差しはいいものですネ！

「防火衣とヘルメットそして、筒先を持ってカッコ良くかまえた消防団員姿」

を描いてくれた児童もいました。活動に参加した我々は、とても嬉しかったです。

(第二分団 平林 編集員)
(第二分団 劍崎 班長)

東京マラソン警戒
と消防団員の出場

【期日／2月24日】
【警戒場所／東雲地域】

第九分団「若狭団員が走りました」

第十分団の担当は東雲地域警戒です。他の地域と比べると有明のゴール手前なので、交通規制が午前から夕方までと長い一日です。

今回はジャスコ付近で見物の方の転倒がありました。・・他は何も無く無事に終えることが出来ました。風が強い日でしたが晴れていたため、陸上好きな私には間近で選手の走る姿が見られる貴重な1日になりました。今回の大会に第九分団から若狭さんが出場し3時間39分17秒の自己ベストで完走されました。



さっそうと走る若狭団員

若狭さんは第一回大会（2007年）が初めてのフルマラソンの挑戦で、今年には三回目のチャレンジです。

フルマラソンを走りきり忘れられない事は、消防団による特別警戒とボランティアの存在、温かい声掛け給水所でのサポート・・・

感謝、感謝でランナーにとっては心強かったそうです。

来年も走る事が出来たらレース中にケガや困っている人がいたら消防団で養った知識と教養を活用し、笑顔でゴールしたいとの事でした。

（第十分団 榎山 編集員）

東日本大震災から2年

「気仙沼の現況に今、何を援助すれば」

気仙沼の同業者との面談

四月六〜七日、あいにくの大嵐（爆弾低気圧）の中バスにて東京鉄橋三団体で、桜前線を北上し宮城県の仲間の所へ向かった。

被災を受け丸2年経過した現況と地域に対して、どの様な援助を行なったらいいかを確認する為です。

車中でドライバーさんが幾回現場に行ったか覚えてない程ですが、最初の頃は魚の腐敗した異臭がひどくて、とても辛かった、また、道路は瓦礫が多くて走れなかったそうです。

午後には気仙沼大島フェリー乗場にて宮

城島の仲間と合流し、船中での話地盤沈下が七十センチで漁船を接岸する為急ピッチで岸壁・高上工事を行っているとの事。

大島着後公民館にて、3・11当日の話聞いた。その後懇親会に移り、理事長同士の話しの中で消防団の話になり、どの様な事が起こり、どの様な対処をしたら良いかを教訓として、伺う事が出来た。

① 地震では建物はあまりダメージを受けない。

通信網が全て不通になり安否確認が数日取れない。

② 津波の第一波より第二、第三波が2倍3倍になる。

引波の早さは想像以上だ。
海上でも流出油で火災が発生する。
河川は逆流し第二、第三波で水嵩が上がり氾濫する。
障害物の無い道路は河川に変貌する。

教訓として、

- ❖ 三日間は自助で生き残るシミュレーションを複数持つ、体に傷を作るな、
- ❖ 体温保持に心掛ける。
- ❖ 避難したら元に戻るな。
- ❖ 生死は運で決まる。

なるほどだと実感しました。又消防団員として、この教訓をどの様に実践

に生かせるかが今後の課題だと思いましたが。

減災に心掛け、一人でも多くの尊い命と財産を守りましょう。

団本部分団長 飯田 歳樹



高校生の総合防災教育
第七・八分団が参加

一泊での防災体験活動

【期日】4月26日
【場所】都立深川高校

東陽五丁目にある都立深川高校で宿泊を伴う防災体験活動が行われ、こちらの支援に第七分団・第八分団及び災害協力隊で参加しました。

この訓練は昨年から、東京都教育庁及び東京消防庁が進める総合防災教育の一環として、都立の高等学校で行われており、深川高校一年生を対象に行われました。

訓練については救出救助訓練、応急担架作成・搬送要領、応急処置要領、AED取扱い訓練など多岐にわたり、校庭ではD級ポンプの放水訓練も行われました。

消防団員は、主に放水訓練とAEDの指導にあたりました。

消防団員にとってもこの年代の生徒を相手に指導することはあまり無いことですが、ほんの半月前に高校生になったばかりの生徒さんは、みんな素直で熱心に訓練に取り組んでいました。

また、訓練は夕方に行われ終了後、帰宅困難になったとの想定で、宿泊訓練も行われました。

(第八分団 庄井 編集員)

第三十三回深川消防団
消防操法大会訓練風景

六月二日に行われる

操法大会へ向けての

意気込みと各分団の

訓練模様

九分団の意気込み

一人、一人が団の誇りをもって六月二日(日)に地域のみなさま、来賓の方々に観戦していただきながらの、操法大会が行われます。

今回、塩浜、枝川、潮見地区担当の第九分団の消防操法大会練習に、おじやまをさせていただきました。

これからの練習日程は、水曜日(夜) 土曜日(夜) 日曜日午前を中心に訓練、練習場所は、潮見印刷団地北側に行っております。

三年前の成績を上げる事ができました。

しかし何としてもこの分団も目標は同じであろう。九分団も、目標は、優勝あるのみ、と全団員が力を合わせて、一人一人が団結心を持って挑戦中です。

ここでメンバーに操法大会に向けての一言を聞いてきました。



指揮者 森田嘉智 今年こそは、上位をねらうが為に、選手、団員が一丸となり練習に励んでいきたいと思えます。

一番員 木下真吾 一番員を担当するのは年齢的にもきつくなってきたので、今年が最後の予定です。有終の美が飾れるように頑張りたいと思います。

二番員 若狭和也 初優勝と云う高い壁を乗り越えて、全員で喜びを分かち合いたいと思います。

三番員 藤木正見 忙しい中、みんなが集まって訓練した成果をいい形に出来るように頑張ります。

四番員 三上 勝 この数カ月間の練習を活かして、ケガなどしないよう一生懸命頑張りたいと思います。

消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

http://www.teisoh.co.jp/ E-mail:info@teisoh.co.jp
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

TEISOH 株式会社 テイソウ
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

消防団協力事業所



株式会社 **ムトウユニパック**

代表取締役 会長 武藤 庄一

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141(代表)
http://www.mutoh-u.co.jp/

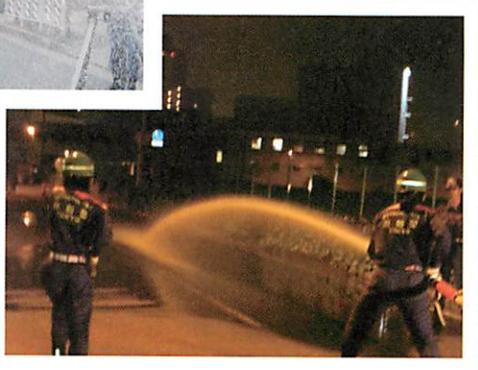
支店・出張所 / 城南・東京中央・城西・横浜・千葉・四ッ谷・さいたま
栃木・前橋・新潟・水戸・長野・大阪・仙台

以上、選手の皆様ありがとうございました。
 決意も新たに、優勝を勝ち取る為、いい汗流して思いつき走り走っていただきたいと思いました。

(第九分団 石山編集員)

消防操法大会へ
 向けての
 訓練風景を載せて
 みました！

分団・選手の皆さま、
 大会当日は訓練成果
 を遺憾なく発揮する
 事をお祈り致します。



❖印刷日時の関係により全分団を掲載できませんでした
 ご了承お願い致します。

消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として
 活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に
 取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。

East 21 オークラ ホテルズ & リゾーツ 〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3
 ホテル イースト21東京 03-5683-5683 (代表)
 www.hotel-east21.co.jp

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか
 分からない」

弊社の社員も消防団員として
 活動しています。

丸八倉庫株式会社

江東区富岡 2-1-9 N.V 富岡ビル 4階

「おおなわ跳び」

消防団員士気高揚体力錬成会

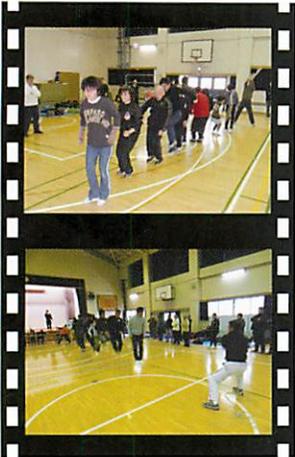
【期日／2月17日】
【場所／深川六中体育館】

第五分団が担当して、深川六中にて行われました。

深川消防署員、消防団員とその家族が参加しての競技会。

今年の競技は「大縄とび」二人の回し手の回す大縄の中を十人が飛び、時に体力を使う競技で大いに体力が錬成されたのではないのでしょうか。

初めての競技であり、どうなるか不安もあつたようですが、競い合ううちに皆さん盛り上がり大変好評な体力錬成会となりました。



子供も大人も一緒に参加できる競技ですので、ご家族一緒に大会を楽しんで

でいる団員も多かったのではないのでしょうか。

参加されたお子さん達はやはり大人よりも縄とびに慣れているのか軽快に飛んでいる姿がこちらで見られました。

競技は行つたが順位が入れ替わる激戦となりましたが！

優勝は 第六分団

準優勝は 第八分団

第三位は 第九分団

で、幕を閉じました。

(第五分団 円城寺 編集員)

形屋団長が防災講話！

【期日／5月9日】

【場所／明治小学校】

明治小学校の児童に、分かりやすく防災についてのお話しをしました。



表彰者の紹介 始式以降の

◆消防庁長官表彰

〈永年勤続功労章〉

団本部	副団長	小安
団本部	副団長	岡本
団本部	副団長	繁

◆日本消防協会表彰

〈精績章〉

第九分団 分団長 下村 勝一

〈勤続章〉

第二分団	副分団長	菊池 常美
第三分団	部長	小幡 毅

◆東京都消防協会表彰

〈功労章〉

第二分団	副分団長	重田 富男
第三分団	副分団長	小柳 一博

〈優良章〉

第八分団	副分団長	鈴木 常夫
第九分団	副分団長	森田 嘉智
第六分団	部長	長谷川 惠津子
第七分団	部長	大本 昌次
第三分団	班長	千野 秀子
第二分団	班長	齋藤 真二

◆深川消防署長表彰

〈消防活動功労〉

第六分団	副分団長	形屋 幸子
第三分団	部長	佐野 英人

消防署の指導者紹介

警防課	川部 課長
毎日勤務	小坂 防災安全係長
町田	消防団担当係長
吉原	副主任
1部当番	坂大 副主任
柿崎	副主任
林田	係員
2部当番	板日高 主任
板井	係員
3部当番	西佐々木 副主任
西脇	副主任

★救急車を呼ぶか、病院か迷ったら救急相談センターへ
#7119
(携帯、PHS、フッシュ回線)

深川消防団員募集中!!

女性・勤務者・学生の方大歓迎

♣️入団資格

心身ともに健康で、十八歳以上の方
消防団の区域内に居住、又は勤務の方

♣️問い合わせ

深川消防団本部(深川消防署内)
電話 〇三(三六四)二〇二九